

# 写生に出かけた少年

小川未明

青空文庫



野原のほらの中に、大きなかしの木きがありました。その下したで、二人ふたりの少年しょうねんは、あたりの風ふう景けいを写生しやせいしていました。

あちらには町まちがあつて、屋根やねが強い日の光ひかりにかがやいています。こちらには、青々あおあおとした田圃たんぼがあつて、野菜やさいの花はなが、白しろに黄色きいろに、咲さいているのが見みられました。

「僕は、あの並木なみきを描かこう。」と、西田にしだが、いいました。

だまつて、南みなみは、じつとひとところを見みつめては、チョコクをうごかしていました。

「君きみは、なにを写生しやせいしているの？」

西田にしだは、友だちとものスケッチ帳ちやうをのぞくと、煙突えんとつから、煙けむりが上があっている、町まちの遠景えんけいを描かいていました。

「いいね、あの風かぜに光ひかっている木立こたちも、雲くもも……」と、顔かおを上げあげた南みなみが、答こたえました。

このとき、前方ぜんぽうから、一人ひとりの男おとこが、なにかぴかぴかするものを、手てのひらにのせて、それを見みながら、やつてきました。

「光ひかるな、なんだろうか。」と、南みなみがいました。

「あの男おとこは、ばかなんだよ。」と、西田にしだがいました。

「ええ、ばか？」

「ああ、あの男は、ばかなんだよ。けれど、おとなしい、なんにもわるいことをしないのだ。活動のエキストラになんか出て、喜んでいいるという話だよ。」と、西田は、人から聞いたことを話しました。

「どうして、ばかになったのだろうね。」

南は目をみはりながら、あちらからくる男を見ました。帽子もかぶらずに、手のひらを熱心に見つめています。

「あれは、金貨みたいだね。」

「は、は、は、金貨なもんか。きつと、新しい一銭銅貨なんだよ。光るから喜んで見ているのだろう。」

「たくさん持つているね。」

「ほんとうに、光るのばかりためたんだろう。」

ふつうならば、高等小学か、中学一年へでも入っている年ごろでした。どうしてばかになったんだろうと思うと、南は、なんだかいじらしい気がして、笑われなくなりました。

男は、こちらに自分を見ているものがあるとも知らず、また、夏の景色がどんなに美しく、かろうと目を向けず、ただ、手のひらの銅貨に気をとられて、ひとり、にやにや、たのしそうに笑いながら、わきみもせず、道を歩いていました。

すると、こつちから、馬子が、手綱をとり、馬に空車を引かせてやってきました。

そして、いつかばかとすれちがいのなつたのです。それでもばかは、ただ自分の手のひらの上の銅貨だけを数えたり、ながめたりしていました。

「あぶない。」と、西田が、思わず、いったときです。ばかは、馬の顔に自分の顔を打ちつけました。

「ひやつ！」と、びつくりした彼は、おどろいて顔を上げると、馬の大きな顔を見たので、手に持っていた、銅貨をばらばらと落としました。

ガラガラと、そんなことに気づかず、馬子は、馬を引いていってしまいました。

その後で、ばかは、いっしょうけんめいに落としたりした銅貨をひろってしまいました。

すると、また、けたたましい音をたて、あちらから、オートバイが砂煙を上げてやってきました。なんとおもうか、あわれな男は、拾った銅貨をにぎって、逃げるように、どこへとなくかけ出していきました。

「あ、は、は、は。」と、二人の少年は、その有り様を見て、笑わずにいらませんでした。

二人は、また写生にとりかかって、しばらくは、それに余念がなかったのです。

「西田くん、あすこに、光るものが落ちているね。」と、さつきばかの銅貨を落とした道の上を、南が指したのでした。

「ああ、オートバイがきたので、あわてて、みんな拾わずにいったんだよ。」

「かわいいそうだね。」

「きつと、さがしに、もどってくるだろう。」

「早くもどってくればいいが、知らぬ人が通ると拾ってしまうね。」

「もうすこし、ここにいて、あの銅貨の番をしていようや。」と、西田と南は、顔を見合つて笑いました。そのうちに、はたしてばかが、あちらから、道の上を血眼になってさがしながらもどってきました。そして、落ちていた銅貨を見つけると、飛びつくようにひろつて、喜んでほおにおしあてました。

「かわいいそうにね。」と、二人の少年は、白い雲を見上げながら、野原をさつたのであります。





# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 12」講談社

1977（昭和52）年10月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

底本の親本：「赤土へ来る子供たち」文昭社

1940（昭和15）年8月

初出：「小学四年生」

1939（昭和14）年8月

※表題は底本では、「写生《しやせい》に出《で》かけた少年《しょうねん》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2017年5月20日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 写生に出かけた少年

小川未明

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>